

山梨県における和服に関する実態調査 (第1報)

～所持数と活用状態～

中村 寿子

1 はじめに

日本人の現代衣生活は、化学繊維の発達、洋服のめざましい発展と共に、近年はさらに既製品が著しく進歩して、次第に近代化されていく生活環境の中で、和洋の併用生活を営んでいるのが現状ではないであろうか。従って衣に関する問題点は限りなくあり、あらゆる角度観点から常にその研究を進める必要がある。

被服に関する実態調査も既に多く報告されており、各地方の特色がそこに表われ、また被服の長い歴史の歩みの中における、その時代の社会世相がうかがわれる。

山梨県は郡内織物産地として、古くから全国に知られている地である。著者は今回、和服を対象として、本県内における実態調査を試みたので報告する。

2 調査の目的

20代から70代の年代にわたって、年令別、種類別及び材料別にその所持数と割合を調べ、さらに和服の用途及び時期を明らかにして、その活用状態を調査した。それによって現衣生活中における和服の位置を明確にし、今後の和装と和服裁縫のあり方を検討する。

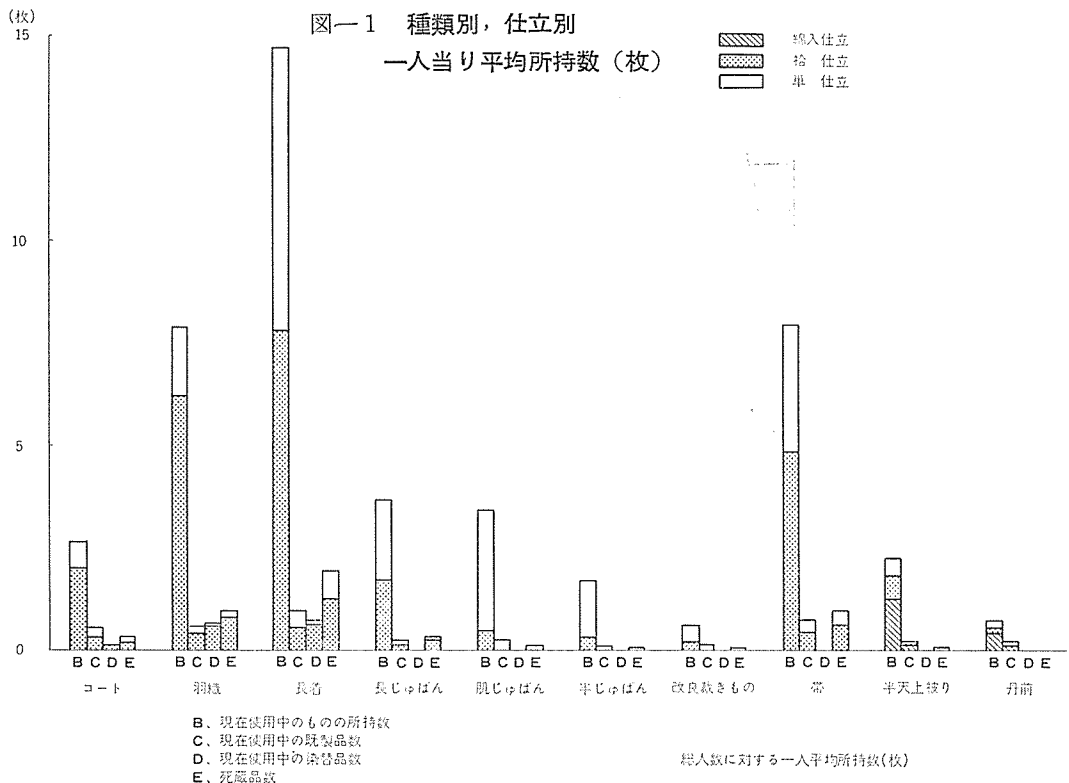
3 調査の方法

3.1 調査対象

対象者を18才以上の本県在住者とし、本学学生を通して表一の形式で調査を行った。

3.2 調査時期

昭和45年10月現在で調査を実施した。



3.3 調査内容

所持数の部にA B C D欄を設け、A欄を現在使用中のものの部、B欄を死蔵品の部とし、さらに前者を種類別材料別及用途別に区分し、染替品と既製品の欄を設けた。C欄ではコートを

さらに目的別にし、D欄では帯を種類別にして記入を求めた。着用時期以下の各項目は、夫々○印の記入とし、有無の場合はその理由も附記し、最後にこれからの和服及び和服裁縫について、各自の意見を求めた。

表1 和服実態調査

住 所

職 業

男 女 (才) 未 既 婚

1 所 持 数

(個人の所有となるものを正確に御記入下さる様お願い致します)

A

B

		現 在 使 用 中 の も の															死蔵品
		絹	毛	木綿	化せん	混紡	不明	計	礼服 吉凶	訪問用	外出用	平常用	ねまき	計	染替品	既製品	
コ ー ト	袷								／								
	単												／				
羽 織	袷								／				／				
	単																
長 着	袷																
	単																
長じゅばん	袷																
	単																
肌じゅばん	袷												／				
	単													／			
半じゅばん	袷								／	／	／						
	単																
改良裁の きもの	袷																
	単																
半 天 上 被り	綿入																
	袷								／	／	／						
帯	袷												／				
	単																
丹 前	綿入								／	／	／						
	袷																
計	袷																
	単																

註 1 かがり仕立の帯は「単の部」、袋帯は「袷の部」に入れて下さい。

2 改良裁きものは一部式二部式を含めます。

以下○印をおつけ下さい。

2 着用時期 真夏, 初秋, 秋, 初冬, 真冬, 春先, 春, 初夏 C コート D 帯

3 着用用途 家庭着, 訪問, 外出, 会合, 改まった場所, その他

4 着付(礼装を除く) 1人で着る, 手伝ってもらう, 着せてもらう。

5 仕立 手製, 家人, 知人, 仕立屋, デパート, 既製品

6 和服に対する興味 有 無

その理由

7 和服裁縫の必要度 有 無

その理由

8 これからの和服及和裁に対するお考えなどおきかせ下さい。

防寒		丸 帯	
合着		袋 帯	
防雨		名古屋 袴	
防塵		単	
		細 帯	
		軽装帯	
		兵児帯	

4 調査の結果及び考察

調査用紙500枚配布に対して, 回収250枚, 回収率50%であった。

表一2は被調査者を年令別地方別に, 表一3は年令別職業別に分類したものであるが, 市部郡部年令及職業に片寄りが見られ, 今後の調査方法を再考するつもりである。

最低年令19才を20代に, 最高年令85才を70代に含めた。

A欄の現在使用中のものの項で, 用途別の項に記入不備が多く, 調査から外した。又被調査者中男子22名についても, 今回は調査対象から省いて参考資料とし, 女子 228名についての結果を報告する。

4.1 所持数について

表一4は年代別に各種類の一人当たり平均所持数を一覧表にしたものである。A全く所持せぬ者B現在使用中のもの, C既製品の利用数。

表2 被調査者地方別年令別 (女子)

地方 地 域 婚 別 年 代			市 部						郡 部					小 計	合 計
			甲 府 市	韮 崎 市	山 梨 市	塩 山 市	都 留 市	富 士 吉 田 市	東 八 代 郡	西 八 代 郡	中 巨 摩 郡	北 巨 摩 郡	東 山 梨 郡		
20 代	才 才 19～29	既婚	6	－	－	－	1	－	1	－	1	－	－	9	37
		未婚	9	1	－	－	1	－	6	1	7	2	1	28	
30 代	30～39	既婚	15	1	－	1	－	－	7	4	5	1	3	37	39
		未婚	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	2	
40 代	40～49	既婚	32	4	2	2	1	1	14	5	17	1	6	85	85
		未婚	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
50 代	50～59	既婚	13	－	1	1	－	2	8	2	9	2	2	40	40
		未婚	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
60 代	60～69	既婚	4	1	－	－	－	2	2	1	5	－	1	16	16
		未婚	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
70 代	70以上	既婚	3	－	－	－	－	－	1	1	4	－	2	11	11
		未婚	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
小 計		既婚	73	6	3	4	2	5	33	13	41	4	14	198	228
		未婚	9	1	－	1	1	－	7	1	7	2	1	30	
合 計			82	7	3	5	3	5	40	14	48	6	15	市部 郡部	105 123

D染替品の利用数，E死蔵品数，F最多最少所持数の項目別である。図－1は表－4のBCDEを種類別仕立別に比較し，グラフで示している。これをみると長着所持数が最も多く，一人平均14.7枚，一人最高所持数は55枚，最低所持数は1枚であった。和服の中での利用度関心度の最も高いことを示している。

次いで帯が平均 7.9枚である。これは長着や羽織との調和や季節及び用途別の着用を考慮に入れるので，長着と共にその所持数が多くなることが考えられる。最多所持数28本，最少が1本であった。

羽織は長着の約 $1/2$ で，帯の所持数をやゝ下廻る。これには羽織なしの帯付の場合や，数枚

の長着に対してその調和の具合では一枚ですむ場合などが考えられるが，平均一人 7.8枚，最高28枚の所持である。

改良裁きものは本調査では利用度が低いようであるが，その原因として，和服本来の形状，仕立方に対する根強い固執と，身ごろの途中その他に，洋裁式に袷を入れることへの抵抗などが上げられ，新しいきものにまだなじめない関心の薄さがうかがえる。

丹前の記入に際しては，個人所有と家庭所有が判然としていない向きがみられ，記入法の説明不足と反省するが，表われた数字により，利用の程度は推測されるものである。

表3 被調査者の職業別，年齢別（女子）

年 代		2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	70以上	合 計
職	業							
学	生	7	-	-	-	-	-	7
農	業	2	14	36	19	6	1	78
商	業	-	2	2	4	-	-	8
サ	ラ リ ー マ (会社員，教師他)	13	3	6	-	-	-	22
自	由 業	1	1	-	-	-	-	2
主	婦 ・ 無 職	7	9	33	14	10	10	83
記	入 無	7	10	8	3	-	-	28
合	計	37	39	85	40	16	11	228

表4 年代別、種類別、仕立別、一人当たり平均所持数一覧表

年代 人数 所持数 種類	被 調 査 者										
	228人										
	A (%)	B (枚)		C (枚)		D (枚)		E (枚)		F (枚)	
コート	22人	袷	2.01	2.64	0.38	0.54	0.11	0.11	0.25	0.33	10
	9.6	単	0.63		0.16		—		0.08		1
羽 織	9人	袷	6.22	7.87	0.42	0.59	0.60	0.65	0.86	0.94	28
	3.9	単	1.65		0.17		0.05		0.08		1
長 着	6人	袷	7.81	14.71	0.54	0.97	0.66	0.73	1.25	1.96	55
	2.6	単	6.90		0.43		0.06		0.71		1
長ば じん ゆ	4人	袷	1.74	3.64	0.10	0.22	0.02	0.03	0.25	0.31	20
	1.8	単	1.90		0.12		0.01		0.06		1
肌ば じん ゆ	20人	袷	0.46	3.39	0.004	0.25	—	—	0.02	0.10	12
	8.8	単	2.93		0.25		—		0.08		1
半ば じん ゆ	99人	袷	0.31	1.68	0.004	0.09	—	—	0.05	0.07	12
	43.4	単	1.37		0.08		—		0.02		1
改き 良も 裁の	176人	袷	0.31	1.15	0.01	0.11	—	—	0.02	0.03	18
	77.1	単	0.84		0.09		—		0.01		1
帯	1人	袷	4.85	7.93	0.42	0.73	—	—	0.65	0.96	22
	0.4	単	3.08		0.31		—		0.31		1
半上 天被 ・り	38人	綿入	1.24	2.24	0.08	0.18	—	—	0.03	0.05	13
	16.7	袷	0.52		0.06		—		0.02		1
		単	0.48		0.04		—		—		
丹 前	174人	綿入	0.42	0.72	0.07	0.16	—	—	—	—	14
	76.3	袷	0.09		0.01		—		—		1
		単	0.21		0.08		—		—		

○ 総人数に対する一人平均所持数

○ A 全く所持せぬ者

B 現在使用中のものの所持数

C 現在使用中の既製品数

D 現在使用中の染替品数

E 死蔵品数

F 最多、最少の所持数

年代 人数 所持数 種類	2 0 代										
	37人										
	A (%)	B (枚)		C (枚)		D (枚)		E (枚)		F (枚)	
コート	17人	袷	0.54	0.86	0.16	0.16	—	—	—	—	3
	45.9	単	0.32		—		—		—		1
羽織	6人	袷	1.84	2.60	0.14	0.19	0.14	0.14	—	—	12
	16.2	単	0.76		0.05		—		—		1
長着	1人	袷	3.43	7.11	0.19	0.24	0.29	0.29	0.05	0.19	26
	2.7	単	3.68		0.05		—		0.13		1
長ばじんゆ	2人	袷	0.94	2.02	0.16	0.24	—	—	—	—	6
	5.4	単	1.08		0.08		—		—		1
肌ばじんゆ	9人	袷	0.43	1.56	0.03	0.14	—	—	—	—	4
	24.3	単	1.13		0.11		—		—		1
半ばじんゆ	22人	袷	0.19	0.81	—	0.05	—	—	—	—	5
	59.4	単	0.62		0.05		—		—		1
改きも裁の	32人	袷	0.05	0.13	—	—	—	—	—	—	1
	86.5	単	0.08		—		—		—		1
帯	1人	袷	1.97	3.75	0.03	0.25	—	—	—	0.03	15
	2.7	単	1.78		0.22		—		0.03		1
半上天被・り	12人	綿入	0.95	1.19	0.03	0.03	—	—	—	—	3
	32.4	袷	0.24		—		—		—		
		単	—		—		—		—		1
丹前	35人	綿入	0.03	0.08	—	—	—	—	—	—	2
	94.6	袷	—		—		—		—		
		単	0.05		—		—		—		1

年代 人数 所持数 種類	3 0 代										
	39人										
	A (%)	B (枚)		C (枚)		D (枚)		E (枚)		F (枚)	
コート	4人	袷	1.51	1.90	0.36	0.54	0.08	0.08	0.23	0.28	7
	10.3	単	0.39		0.18		—		0.05		1
羽織	2人	袷	5.56	6.72	0.49	0.64	0.31	0.31	0.97	1.12	14
	5.1	単	1.15		0.15		—		0.15		3
長着	3人	袷	6.87	11.54	0.84	1.41	0.46	0.49	1.07	1.77	24
	7.7	単	4.67		0.57		0.03		0.69		1
長ば じん ゆ	—	袷	1.87	3.46	0.10	0.35	—	—	0.18	0.28	8
	—	単	1.59		0.25		—		0.10		1
肌ば じん ゆ	—	袷	0.74	3.46	—	0.51	—	—	0.08	0.31	8
	—	単	2.72		0.51		—		0.23		1
半ば じん ゆ	16人	袷	0.33	1.28	—	0.15	—	—	0.10	0.18	6
	41.0	単	0.95		0.15		—		0.08		1
改き 良裁の	28人	袷	0.13	0.67	—	0.23	—	—	—	—	6
	71.8	単	0.54		0.23		—		—		1
帯	—	袷	4.90	8.05	0.56	0.94	—	—	0.69	1.05	16
	—	単	3.15		0.38		—		0.36		2
半上 天被 ・り	7人	綿入	1.23	1.90	0.13	0.31	—	—	0.05	0.08	4
	17.9	袷	0.49		0.13		—		0.03		1
		単	0.18		0.05		—		—		
丹 前	25人	綿入	0.82	1.28	0.13	0.28	—	—	0.13	0.16	14
	64.1	袷	0.20		0.02		—		0.03		1
		単	0.26		0.13		—		—		

年代 人数 所持数 種類	4 0 代										
	85人										
	A (%)	B (枚)		C (枚)		D (枚)		E (枚)		F (枚)	
コート	1人	袷	2.55	3.37	0.37	0.54	0.19	0.19	0.36	0.48	8
	1.2	単	0.82		0.17		—		0.12		1
羽織	1人	袷	7.59	9.45	0.41	0.56	0.82	0.87	1.34	1.41	28
	1.2	単	1.86		0.15		0.05		0.07		3
長着	1人	袷	9.31	17.33	0.42	0.63	0.73	0.85	1.95	3.07	52
	1.2	単	8.02		0.21		0.12		1.12		5
長ばじんゆ	2人	袷	1.96	4.14	0.07	0.13	0.01	0.03	0.43	0.52	20
	2.4	単	2.18		0.06		0.02		0.08		1
肌ばじんゆ	9人	袷	0.48	3.55	—	0.07	—	—	0.02	0.14	10
	10.6	単	3.07		0.07		—		0.12		1
半ばじんゆ	32人	袷	0.16	1.74	0.01	0.02	—	—	0.07	0.07	10
	37.6	単	1.58		0.01		—		—		1
改きも裁の	69人	袷	0.14	0.47	0.03	0.06	—	—	0.06	0.08	10
	81.2	単	0.33		0.03		—		0.02		1
帯	—	袷	5.65	8.79	0.47	0.69	—	—	1.12	1.58	21
	—	単	3.14		0.22		—		0.46		2
半上天被・り	12人	綿入	1.22	2.39	0.05	0.14	—	—	0.05	0.07	12
	14.1	袷	0.56		0.06		—		0.02		1
		単	0.61		0.03		—		—		
丹前	66人	綿入	0.37	0.58	—	—	—	—	0.03	0.03	11
	77.6	袷	0.08		—		—		—		1
		単	0.13		—		—		—		

年代 人数 所持数 種類	5 0 代										
	40人										
	A (%)	B (枚)		C (枚)		D (枚)		E (枚)		F (枚)	
コート	—	裕	2.22	3.12	0.28	0.58	0.15	0.15	0.17	0.30	7
	—	単	0.90		0.30		—		0.13		1
羽織	—	裕	6.83	8.96	0.57	0.87	0.85	0.85	0.60	0.70	27
	—	単	2.13		0.30		—		0.10		4
長着	1人	裕	8.85	17.08	0.63	1.68	1.05	1.15	1.15	1.95	55
	2.5	単	8.23		1.05		0.10		0.80		4
長ばじんゆ	—	裕	1.62	4.00	0.10	0.20	0.03	0.03	0.17	0.27	10
	—	単	2.38		0.10		—		0.10		1
肌ばじんゆ	—	裕	0.46	3.39	—	0.43	—	—	—	—	11
	—	単	2.93		0.43		—		—		2
半ばじんゆ	16人	裕	0.32	1.90	—	0.27	—	—	0.02	0.07	10
	40.0	単	1.58		0.27		—		0.05		1
改きも裁の	28人	裕	0.30	1.07	—	0.25	—	—	—	—	18
	70 0	単	0.77		0.25		—		—		1
帯	—	裕	5.25	8.85	0.47	1.02	—	—	0.50	0.87	19
	—	単	3.60		0.55		—		0.37		3
半上天被り	5人	綿入	1.03	2.27	0.05	0 12	—	—	—	0.05	6
	12.5	裕	0.47		0.02		—		0.05		1
		単	0.77		0.05		—		—		
丹前	35人	綿入	0.03	0.31	—	0.05	—	—	—	—	7
	87.5	裕	0.15		0.05		—		—		1
		単	0.13		—		—		—		

年代 人数 所持数 種類	6 0 代										
	16人										
	A (%)	B (枚)			C (枚)		D (枚)		E (枚)		F (枚)
コート	—	袷	2.38	2.69	1.00	1.00	—	—	0.31	0.31	10
	—	単	0.31		—		—		1		
羽織	—	袷	8.25	10.63	0.44	0.63	0.69	0.88	0.69	0.88	25
	—	単	2.38		0.19		0.19		0.19		5
長着	—	袷	8.50	18.31	0.69	1.38	0.75	0.75	0.75	0.94	40
	—	単	9.81		0.69		—		0.19		7
長ばじんゆ	—	袷	2.19	4.50	0.12	0.37	0.06	0.06	0.19	0.19	11
	—	単	2.31		0.25		—		—		1
肌ばじんゆ	2人 12.5	袷	0.37	5.25	—	0.38	—	—	—	—	12
		単	4.88		0.38		—		—		2
半ばじんゆ	7人 43.8	袷	1.06	2.87	—	—	—	—	—	—	12
		単	1.81		—		—		—		1
改きも良裁の	11人 68.8	袷	0.06	0.56	—	—	—	—	—	—	3
		単	0.50		—		—		—		1
帯	—	袷	5.75	9.69	0.44	0.75	—	—	0.31	0.31	19
	—	単	3.94		0.31		—		—		4
半上天被り	1人	綿入	1.69	3.63	0.13	0.38	—	—	—	—	13
	6.3	袷	1.25		0.19		—		—		1
		単	0.69		0.06		—		—		
丹前	10人	綿入	1.56	2.75	0.69	1.50	—	—	—	—	8
	62.5	袷	—		—		—		2		
		単	1.19		0.81		—				—

年代 人数 所持 種類	7 0 代										
	11人										
	A (%)	B (枚)			C (枚)		D (枚)		E (枚)		F (枚)
コ ー ト	—	拾	3.18	3.72	0.82	1.09	0.09	0.09	0.45	0.54	7
	—	単	0.54		0.27		—		0.09		2
羽 織	—	拾	7.64	9.73	0.73	0.91	0.45	0.81	0.82	0.91	14
	—	単	2.09		0.18		0.36		0.09		3
長 着	—	拾	9.55	17.45	1.27	1.72	0.64	0.64	1.54	1.54	30
	—	単	7.91		0.45		—		—		12
長ば じゅ	—	拾	2.09	3.36	0.09	0.27	0.09	0.09	0.18	0.18	9
	—	単	1.27		0.18		—		—		1
肌ば じゅ	—	拾	0.46	4.81	—	0.45	—	—	—	—	7
	—	単	4.36		0.45		—		—		3
半ば じゅ	6人	拾	0.64	1.64	—	—	—	—	—	—	5
	54.5	単	1.00		—		—		—		2
改き 良裁 の	8人	拾	0.09	0.73	—	—	—	—	—	—	6
	72.7	単	0.64		—		—		—		1
帯	—	拾	5.45	9.09	0.64	0.82	—	—	0.18	0.27	22
	—	単	3.64		0.18		—		0.09		4
半上 天被 り	1人	綿入	2.54	3.63	1.73	3.77	—	—	—	—	8
	9.1	拾	0.27		1.27		—		—		2
		単	0.82		0.73		—		—		
丹 前	3人	綿入	0.46	0.64	—	—	—	—	—	—	3
	27.3	拾	0.09		—		—		—		1
		単	0.09		—		—		—		

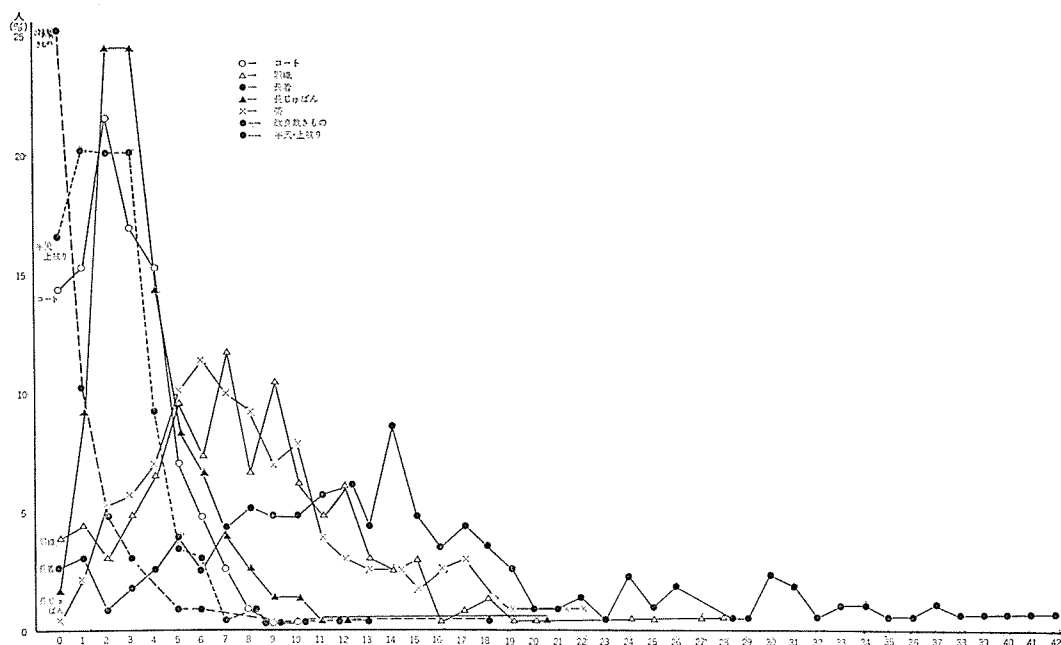
表—5及び図—2は所持数別に各種類の所持者数を調べた結果である。

表5 枚数別種類別所持者数

種類 所持数(枚)	コ ー ト (人)	羽 織 (人)	長 着 (人)	長ん じゅ ば (人)	肌ん じゅ ば (人)	半ん じゅ ば (人)	改き 良も 裁の (人)	帯 (人)	半上 天被 り (人)	丹 前 (人)
1	35	10	7	21	12	25	27	5	50	16
2	49	7	2	56	48	35	11	12	49	16
3	39	11	4	56	54	32	7	13	49	6
4	35	15	6	33	36	19	-	16	21	2
5	16	22	9	19	30	7	2	25	8	3
6	11	17	6	15	7	3	2	26	7	1
7	6	27	10	9	8	4	-	23	1	2
8	2	15	12	6	6	-	-	21	2	3
9	1	24	11	3	3	-	1	16	1	-
10	1	14	11	3	2	2	1	18	-	-
11	-	11	13	1	1	1	-	9	-	1
12	-	14	14	1	1	1	-	7	1	-
13	-	7	10	-	-	-	-	6	1	-
14	-	6	20	-	-	-	-	6	-	1
15	-	7	11	-	-	-	-	4	-	-
16	-	1	8	-	-	-	-	6	-	-
17	-	2	10	-	-	-	-	7	-	-
18	-	3	8	-	-	-	1	3	-	-
19	-	1	6	-	-	-	-	2	-	-
20	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-
21	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-
22	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-
23	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
24	-	1	5	-	-	-	-	-	-	1
25	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
26	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
28	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
29	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
30	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
31	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
34	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
35	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
36	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
37	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
38	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
40	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
42	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
43	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
46	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
52	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
55	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
0	33	9	6	4	20	99	176	1	38	176

。 各種類の人数は記入者の実数

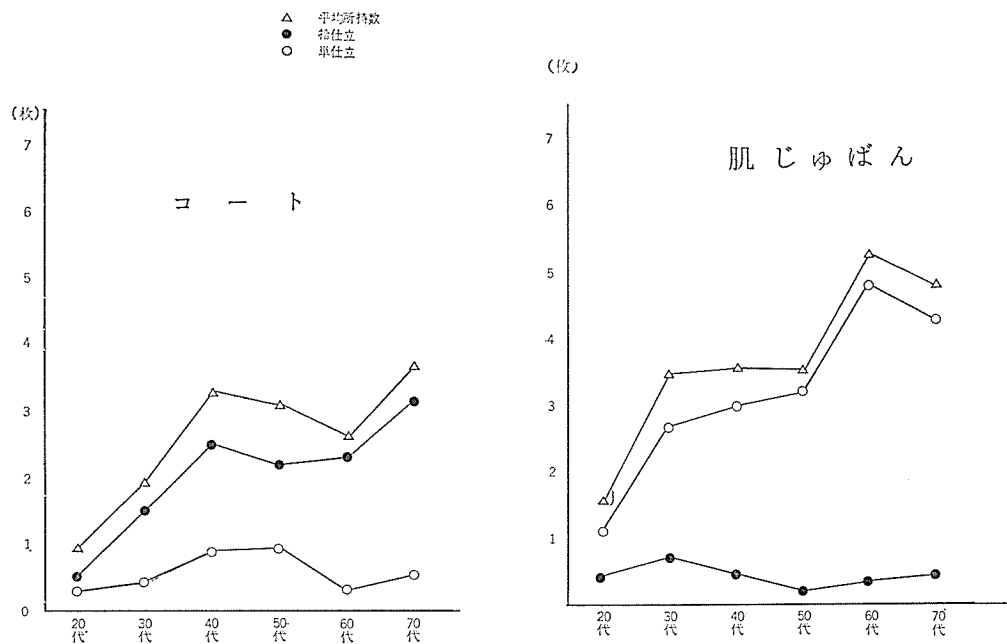
図—2 枚数別種別所持者数 (%)

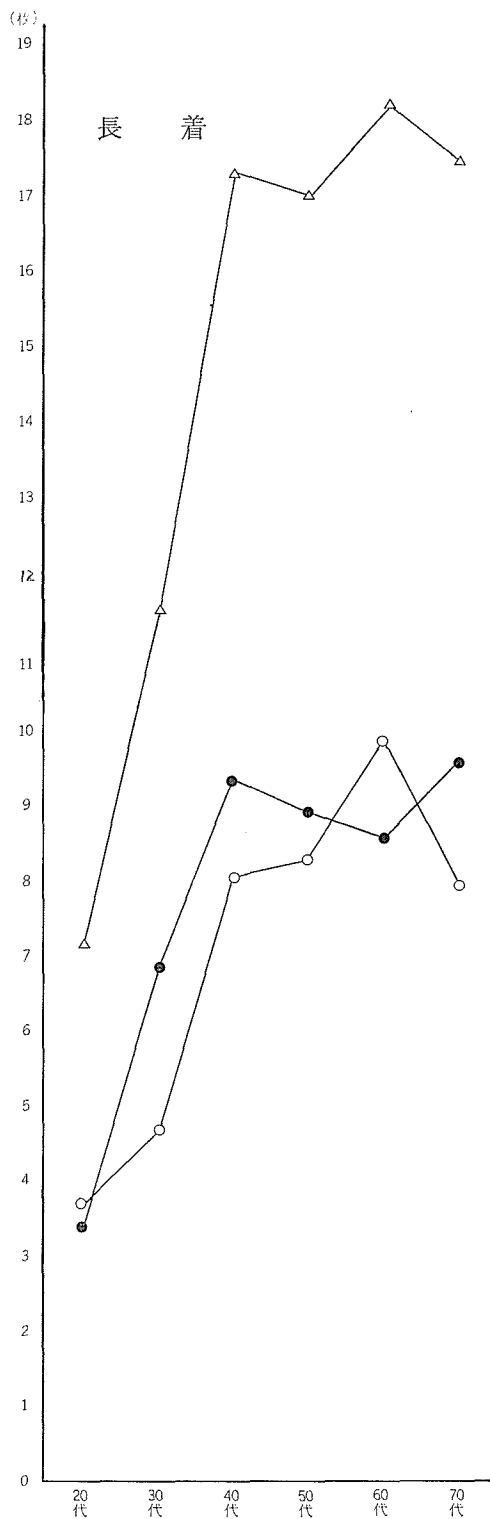
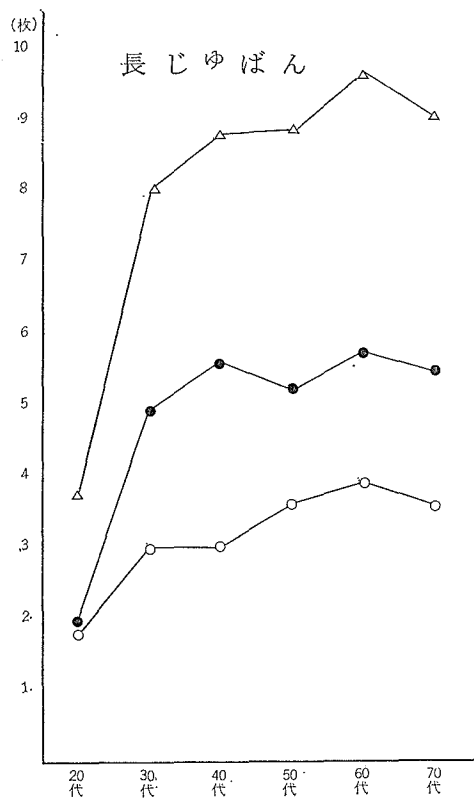
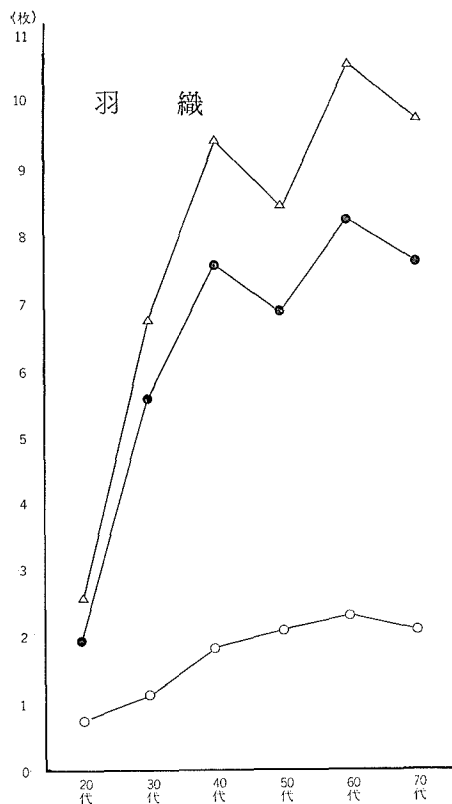


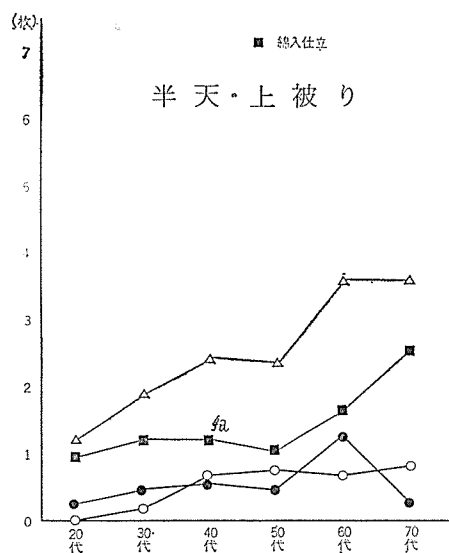
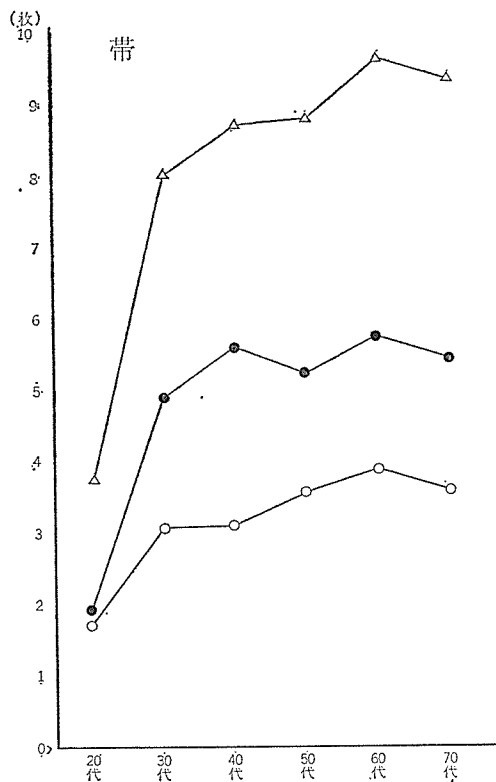
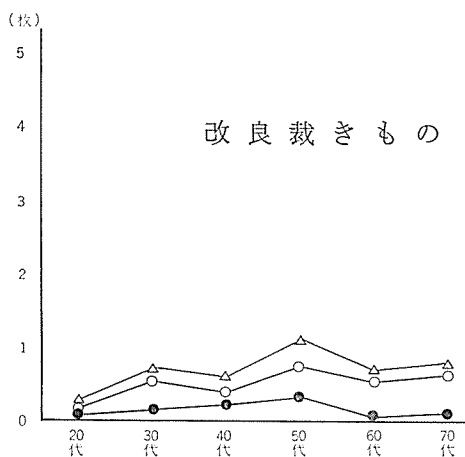
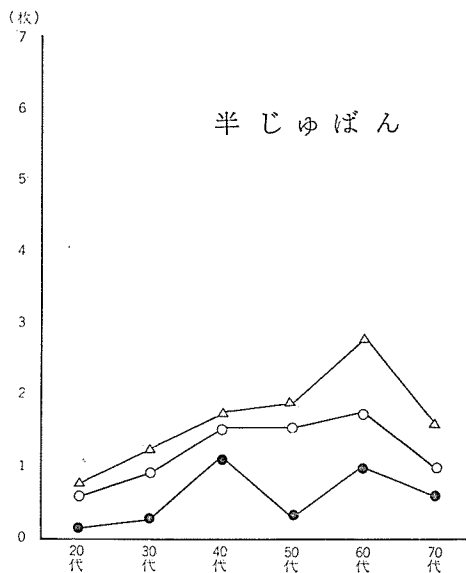
これによると、コート、長じゅばん、半丈は一人2枚～4枚位の所持者が最も多く、羽織、帯では4枚～7枚位、長着では7枚～14枚位である。(各種類の最多、最少所持数は表—4参

照)さらにこれを年代別にみると、図—3に示す様に、どの種類も所持数の多いのは40代以上の年代で、30枚50枚の所持者は家庭の主婦に多くみられた。

図—3 種別別、仕立別、年代別一人当たり平均所持数







次に材料別仕立別に各種類の所持数を表一6と図一4で示した。

訪問外出に多く着用する（図一7，図一8参照）長着や羽織には絹又は化繊類の衿仕立が多い。下着平常着には毛，木綿化繊類の単仕立が目立ち，経済，管理の上から堅実な活用法と云

えよう。長着に多い木綿は，夏に着用するゆかたと思われる。綿入半天及び丹前は綿つきのよい木綿が好んで使用されるが，単の丹前地の出廻っていることから，仕立管理の上からも，単仕立が好ましく，次第に増加することが予想される。化繊地が，コートや長着及び羽織長じゅ

表6 材料別仕立別種類別一人当り平均所持数（枚）

種類	仕立	材料		絹		毛		木綿		化繊		混紡		材料名不明	
				(枚)		(枚)		(枚)		(枚)		(枚)		(枚)	
コート	袷	0.73	0.94	0.81	1.01	0.03	0.07	0.21	0.29	0.23	0.30	0.01	0.04		
	単	0.21		0.20		0.04		0.08		0.07		0.03			
羽織	袷	3.98	4.63	0.99	1.73	0.19	0.23	0.56	0.65	0.40	0.50	0.10	0.14		
	単	0.65		0.74		0.04		0.09		0.10		0.04			
長着	袷	5.45	6.99	0.93	3.68	0.35	2.12	0.46	0.82	0.43	0.78	0.19	0.32		
	単	1.54		2.75		1.77		0.36		0.35		0.13			
長ばじんゆ	袷	1.20	1.88	0.23	0.79	0.05	0.17	0.17	0.57	0.88	0.20	0.01	0.03		
	単	0.68		0.56		0.12		0.40		0.12		0.02			
肌ばじんゆ	袷	0.02	0.35	0.01	0.11	0.40	2.76	0.02	0.11	0.01	0.04	—	0.02		
	単	0.33		0.10		2.36		0.09		0.03		0.02			
半ばじんゆ	袷	0.02	0.16	0.03	0.11	0.21	1.29	0.04	0.10	0.01	0.02	—	—		
	単	0.14		0.08		1.08		0.06		0.01		—			
改きも良裁の	袷	0.06	0.11	0.04	0.29	0.04	0.11	0.01	0.04	—	0.02	0.16	0.58		
	単	0.05		0.25		0.07		0.03		0.02		0.42			
帯	袷	3.08	4.68	0.35	0.75	0.25	0.42	0.51	0.92	0.42	0.77	0.24	0.39		
	単	1.60		0.40		0.17		0.41		0.35		0.15			
半上天被・り	綿入	0.21	0.29	0.13	0.32	0.61	0.86	0.21	0.40	0.07	0.16	0.01	0.01		
	袷	0.07		0.15		0.15		0.10		0.05		—			
	単	0.01		0.24		0.10		0.09		0.04		—			
丹前	綿入	0.09	0.13	0.01	0.07	0.25	0.39	0.06	0.09	0.01	0.03	—	0.01		
	袷	0.03		0.01		0.04		0.01		—		—			
	単	0.01		0.05		0.10		0.02		0.02		0.01			

- 1人当り平均所持数は総人数に対する平均枚数。
- 少数点2位以下は4捨5入。

ばんにかなりの高率で使用されていることは、その発展ぶりを示すものであろう。

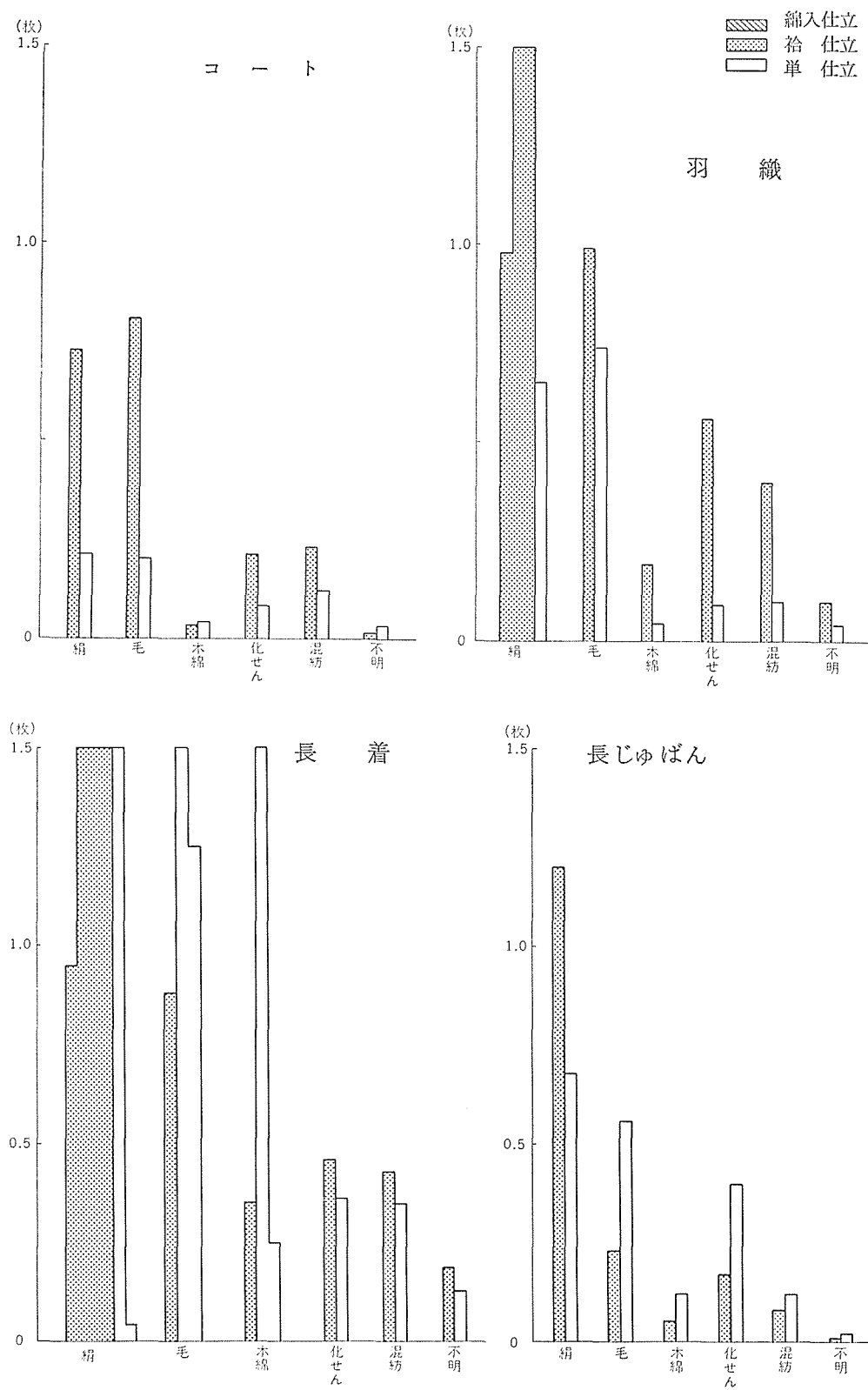
表一7：8 図一5：6はコート及び帯を目的別と用途別に区分した。

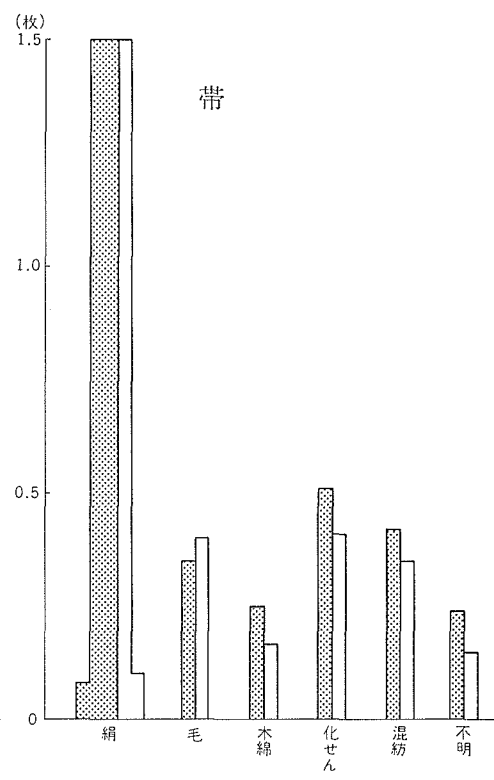
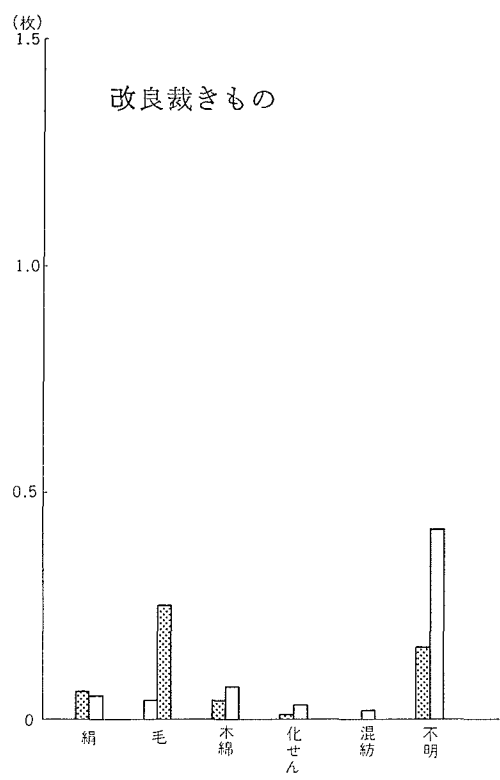
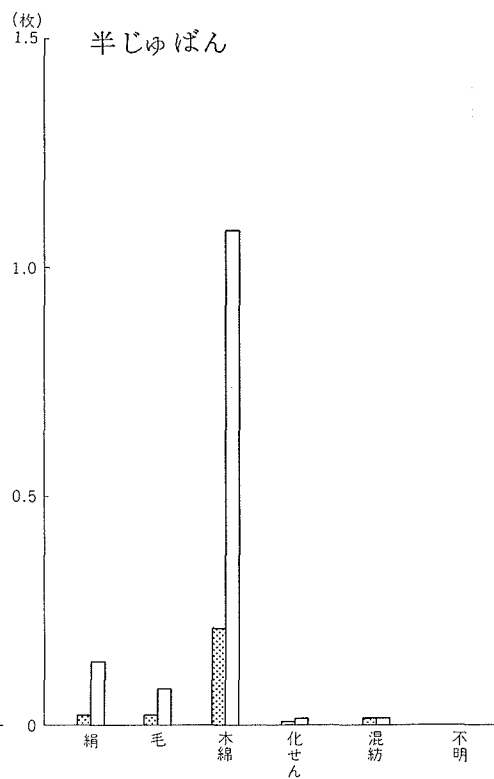
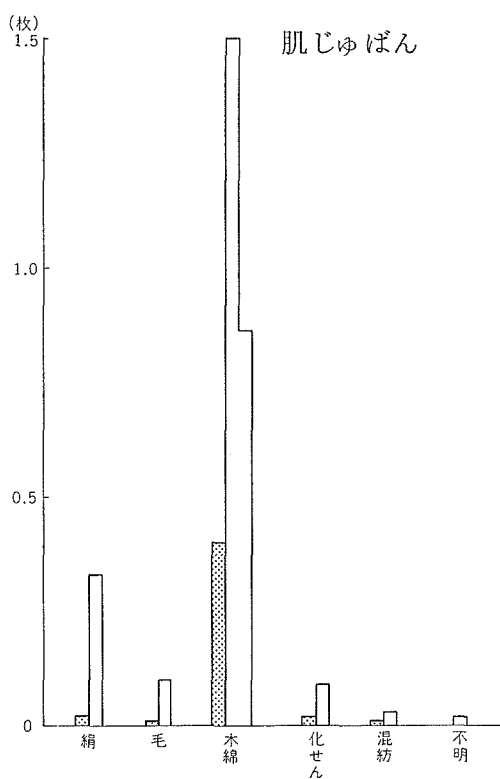
コートは防寒用が最も多く、同時に合着用にも兼ねていることが推測される。又合着用と防

雨用も材質を選んで兼用としていることも推定される。

40代以上には昔ながらの丸帯利用者がみられるが、軽くて扱いよい袋帯は今後丸帯を凌ぐことになろう。着用に便利な軽装帯も利用率が高く、各年代を通じて50%以上所持している。

図一 4 材料別種類別仕立別一人当り平均所持数（枚）





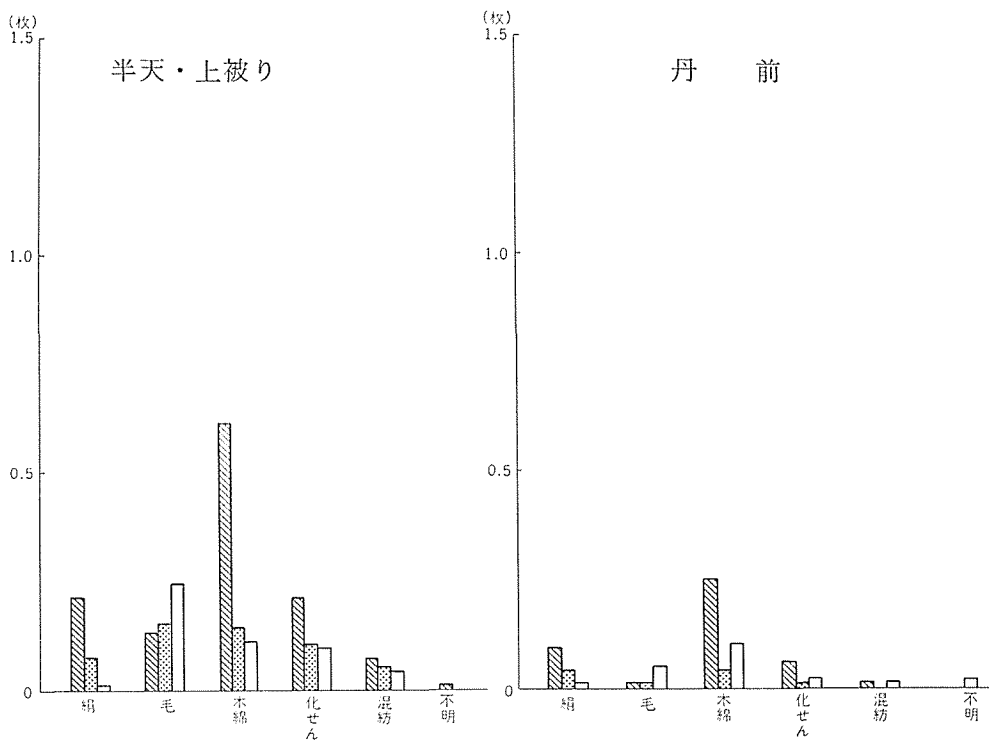


表7 コート目的別年代別所持者数

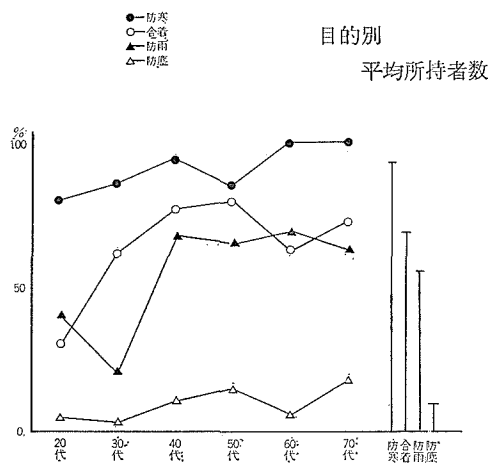
年代 所持者数 用途	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
	20人	35人	84人	40人	16人	11人	206人
	%	%	%	%	%	%	%
防 寒	80	86	94	85	100	100	90
合 着	30	63	77	80	63	73	69
防 雨	35	20	68	65	69	63	56
防 塵	5	2.8	11	15	6	18	10

- ・ コート所持者数に対する平均値。
- ・ 防寒と合着，合着と防雨の兼用あり。
- ・ 少数点2位以下は四捨五入。

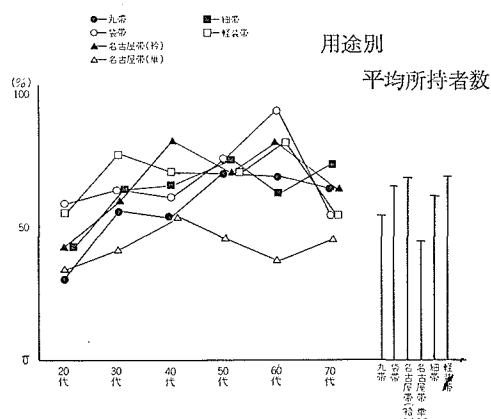
表8 帯 種 類 別 年 代 別 所 持 者 数

用途	年代 所持者数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
		36人	39人	85人	40人	16人	11人	227人
丸 帯		31%	56%	53%	70%	69%	64%	55%
袋 帯		58	64	61	5	94	55	66
名古屋帯	袷	42	59	82	70	81	64	69
	単	33	41	53	45	38	45	45
細 帯		33	64	66	75	63	73	62
軽 装 帯		56	77	70	70	81	54	69

- ・ 帯所持者数に対する平均値。
- ・ かぶり帯は「単」の部に記入。
- ・ 少数点2位以下は四捨五入。

図一5 コート 目的別年代別所持者数
(コート所持者数に対する平均値)

愛着と経済の上から、染替品利用が盛んな時期があったが、材質及色柄の流行などから新しく購入する傾向にあり、染替利用の減少、不用品の死蔵の増加となり、手軽に着用可能な既製

図一6 帯 用途別年代別所持者数
(帯所持者数に対する平均値)

品が次第に多く利用される現状となった。(表一4 図一1参照) 新しい時代の一つの傾向であろう。

表9 年 代 別 着 用 時 期

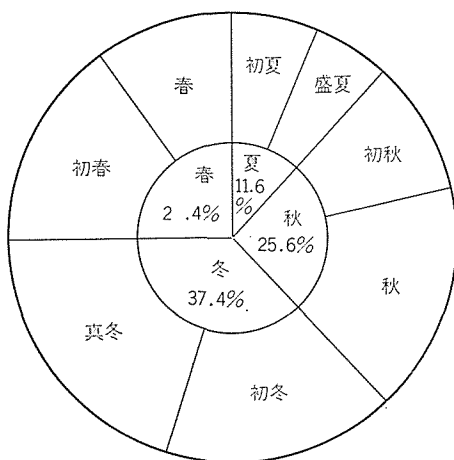
年代	人数	春		夏		秋		冬	
		初 春	春	初 夏	盛 夏	初 秋	秋	初 冬	冬
20代	37人	13人 35.1%	7人 18.9%	6人 16.2%	15人 40.5%	8人 21.6%	20人 54.1%	18人 48.6%	24人 64.8%
30代	39人	22人 56.4%	12人 30.8%	7人 17.9%	4人 10.3%	12人 30.8%	26人 66.7%	22人 56.4%	28人 71.8%
40代	85人	54人 63.6%	35人 41.1%	18人 21.2%	15人 17.6%	30人 35.2%	56人 65.8%	61人 71.7%	84人 98.8%
50代	40人	34人 85.0%	23人 57.5%	11人 27.5%	10人 25.0%	21人 52.5%	33人 82.5%	37人 92.5%	39人 97.5%
60代	16人	16人 100%	11人 68.8%	9人 56.4%	6人 37.5%	12人 75.0%	14人 87.5%	16人 100%	16人 100%
70代	11人	11人 100%	10人 90.9%	6人 54.5%	7人 63.6%	8人 72.7%	10人 90.9%	10人 90.9%	11人 100%

4・2 着用時期について

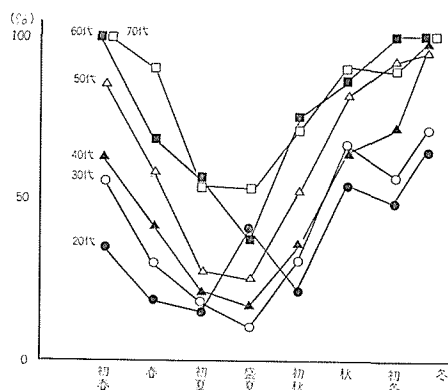
表一9 図一7：8に示す通り，四季年代を通じて夏期に少なく冬期に多く利用されている。夏は涼しく着用できる洋服で，冬は体型のカバーと保温を兼ねてあたたかくという理由であろう。

冬期に着用頻度の高いことは，衿仕立の多くなる原因の一つと考えられる。従って材質も薄手の絹又は絹風の織物が選ばれることは当然であろう。又材料別図一4の長着にみられるように，木綿の多いことから，夏期にもゆかたとしての利用が今も大であることが推測される。

図一7 着用時期の割合



図一8 年代別着用時期



4・3 着用用途について

用途別に，全体の割合と年代別の割合とを調べたのが表一10，図一9：10である。

一般に家庭着としての利用が少なく，訪問外出改まった場所での着用が多い。特に動きの多い20代30代40代では，家庭での平常者は動的な洋服が重宝に使われ，50代60代では主として活動性の少ない和服を着用していると思われる。家族間における年齢の位置，身体的な条件などからもうなづけるものがある。20代の常用せぬまでも，時折なりともきもの姿を楽しむ気持ちがこの図上にうかづわれてほゞえましい。

表10 年代別着用用途

年代	用 途	家 庭 着	訪 問	外 出	会 合	改まった場所
	人数					
20代	37人	15人 40.5%	21人 56.7%	18人 48.6%	5人 13.5%	14人 37.8%
30代	39人	8人 20.5%	25人 64.1%	27人 69.2%	7人 17.9%	15人 38.5%
40代	85人	17人 20.0%	66人 77.6%	79人 92.0%	33人 38.8%	50人 58.8%
50代	40人	18人 45.0%	34人 85.0%	33人 82.5%	22人 55.0%	34人 85.0%
60代	16人	16人 100%	13人 81.3%	15人 94.0%	6人 37.5%	12人 75.0%
70代	11人	11人 100%	8人 72.7%	11人 100%	4人 36.4%	6人 54.5%

図-9 着用用途の割合

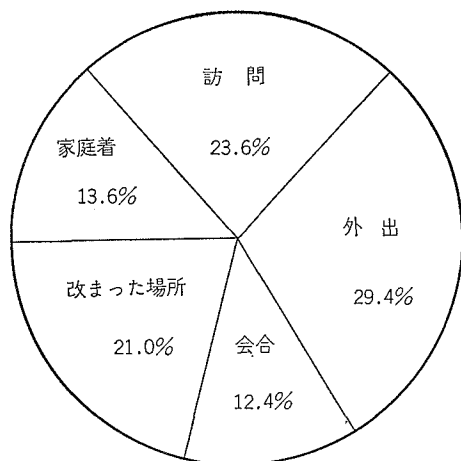
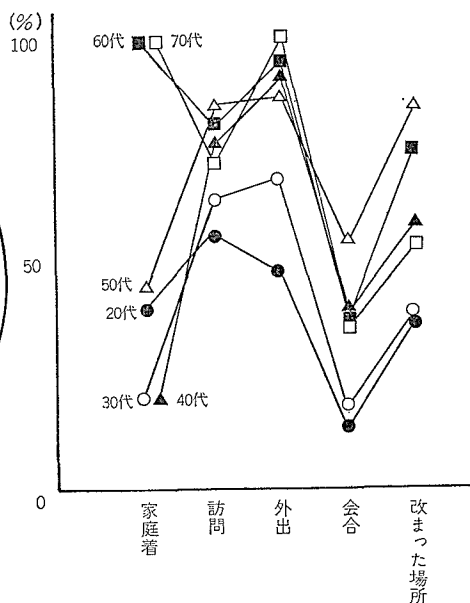


図-10 年代別着用用途

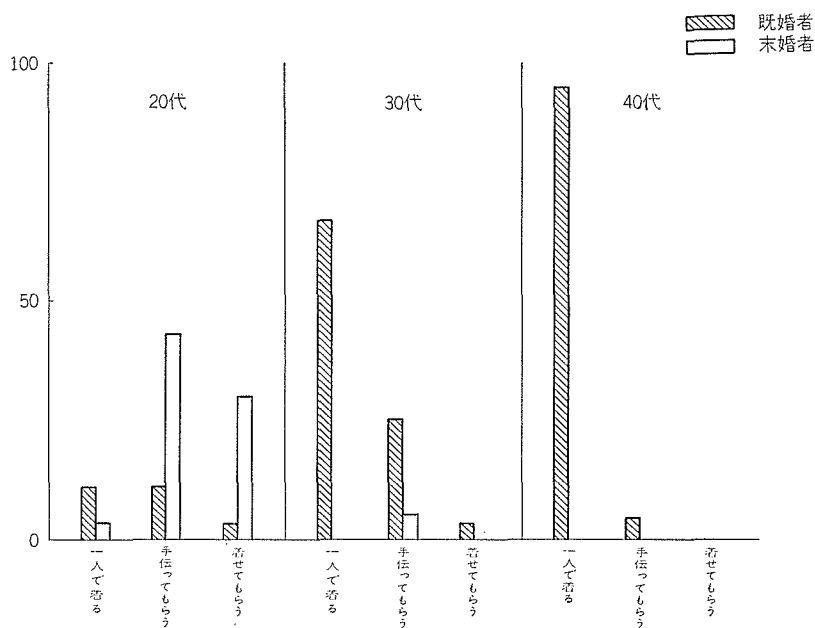


4・4 着付について

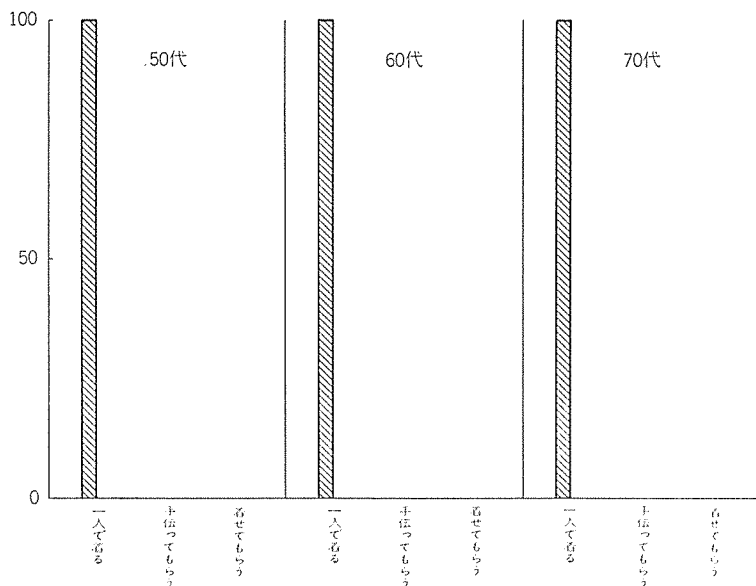
着付のし方をまとめると図-11：12の通りである。着付の上手下手は別として、一人で着られる人は全体では78%であるが、年代別にみる

と洋服を主としている20代では中々困難な向きがみられ、生活に密着させて着用している40代以上に、大きな差のあることは当然と考えられる。「きもの着付教室」の開設がうなづける。

図-11 年代別婚姻別着付方



図—12



4 お わ り に

和洋併用の日常衣生活において、洋服の占める位置は大であるが、一方和服に対する愛着も捨てがたく、和服に関する一般的傾向が本調査によって明らかになった。

平均一人当りの所持数長着14.7枚 羽織7.8枚は、国際羊毛事務局全国調査（昭和43年）の長着5.4枚 羽織2.8枚と比較し、所有率は ほぼ同傾向である。各年代では洋服着用を主とする20代に所持数少なく、次第に増加を示して、40代50代では50余枚の長着所持者もあるが、平均して3～4枚から10枚以内が一般の所持数とみられる。

使用する材料は、本調査では絹の袷仕立が目立つが、織物産地としての特徴もさることながら、四季の内、冬と夏の寒暖の差のはげしいと云われる本県では、その着用時期と用途に大いに関連をもつものと考えられる。

一方毛、化繊、混紡類の材質改良発展に伴い単仕立が歓迎されつつある傾向がみられ、同時に染替品の活用が次第に減少し、死蔵品が増すことになろう。

一般に、家庭着としては機能性のある動的な

洋服を、訪問外出用には活動性は少ないが保温性、体型のカバー、日本的なムードなどの長所を生かして、静的な和服を着用していると思われる。

さらに構成、着装、管理、経済などの合理化機能化被服衛生の面から、既製品、軽装帯、改良裁きもの利用が増加しつつあることは、衣における生活の知恵とも云えよう。

40代では問題のない一人での着付の、不得手な若い人を対象に、最近開設されはじめた「きもの教室」は、現在衣生活にあらわれた一つの傾向をとらえての方策と云えよう。

今回は被調査者の範囲などから、所持数及び活用状態の傾向を知るにとどまったが、本調査の目ざす衣についての問題点の把握とその解決への一端ともなると信ずるものである。

尚残された調査内容については、次回に報告する予定である。

最後に御熱心に御指導お力添えを下さいました文化女大学渡辺ミチ先生、田村照子先生、群馬大学金子富美先生、本学諸先生並びに学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

参 考 文 献

- (1) 金子 富美；群馬県における被服実態調査
群馬大教育 紀要 2.4.6
(1966. 1968. 1970)
- (2) 橋本貴美子；被服所持量とその着用度に関する実
他4名 態調査（第2）
家政誌（1964）
- (3) 菊地 秀子；岩手県における和服生活の現状
他1名 家政誌（1966. 1968）
- (4) 国際羊毛事務局；最近のきものの普及状況
(1968)
- (5) 全国家庭科教育協会；小中高校児童生徒の衣生活
実態調査 (1967)